Vol.80　マイナー系 3 種の基本スケールを切り替えてみる

では、『10 分トレ』vol.80、始めていきましょう。

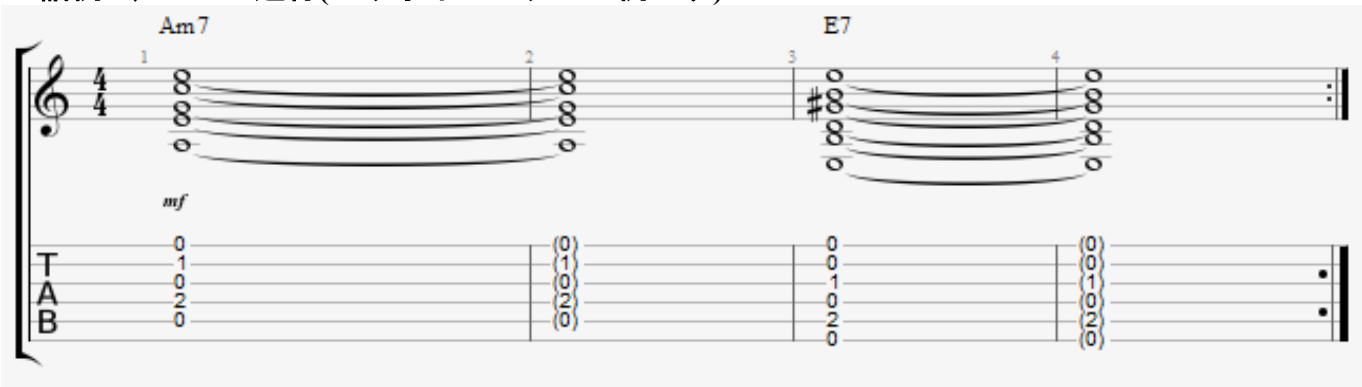
今回は、過去にも少し弾いておいた、マイナー系のスケールを切り替えていくトレーニングをします。

マイナー系で基本となるスケールはナチュラルマイナーを筆頭に、ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの 3 種類ですね。

作曲もそうですが、アドリブ等を本格的にやり始めると、その内必ず、これらを使い分けていく時期が来るのでここで練習しておきましょう。

ではまず、想定するコード進行は以下になります。

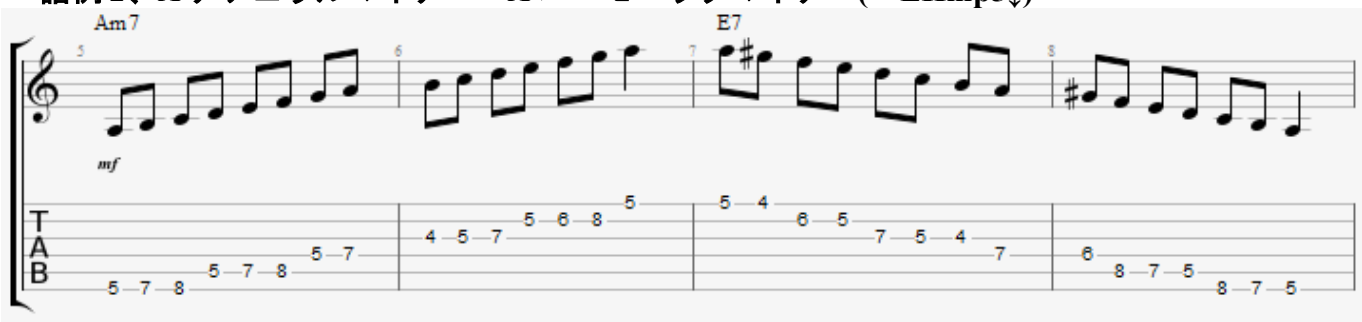
譜例 1、コード進行(※ヴォイシングは一例です)



内容としては、key=Am 時のＩ－Ｖですね。

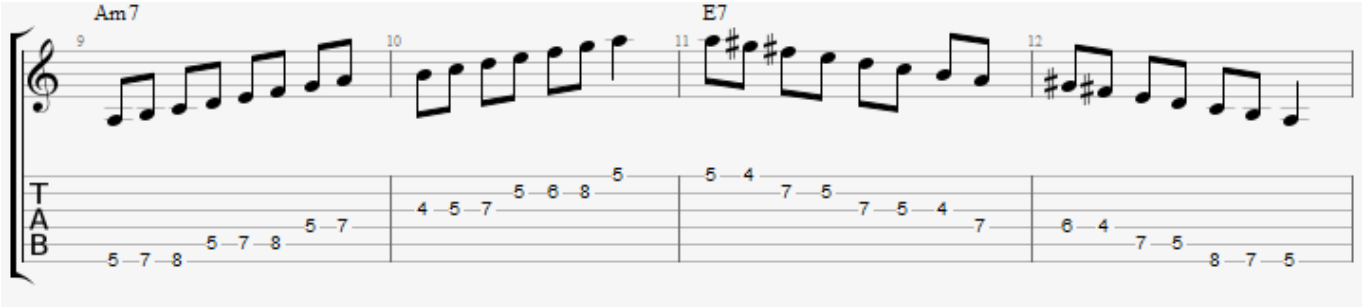
まずはこの内、Am7 上でナチュラルマイナー、E7 上でハーモニック or メロディックと使い分けて(弾き分けて)みましょう。

譜例 2、A ナチュラルマイナー⇒A ハーモニックマイナー(＝EHmp5↓)



譜例 3、A ナチュラルマイナー⇒A メロディックマイナー(＝E ミクソリディアン♭6)

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



まず、それぞれを弾いた感じとしては、おそらく譜例 2 の方は違和感はないでしょう。

ですが、譜例 3 の方では F♯音が少し引っかかる感じがすると思います。

この音は、場合によってはそれなりに気を付ける必要もあるのですが、現段階ではとりあえず無視しても良いです。

まずはポジションと響きに慣れる事が目的なので。

後は、譜例とは違いますが、Am7 上でハーモニック or メロディックのスケールを弾いてもある程度許容されうるので、そういった観点からフレーズを作ってみても良いですね。

こちらも、バックのコードに対する各音のインターバルを把握して、それらの響きを掴んでおきましょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved